

平成25年定例会

教育警察常任委員会

所管事項概要説明

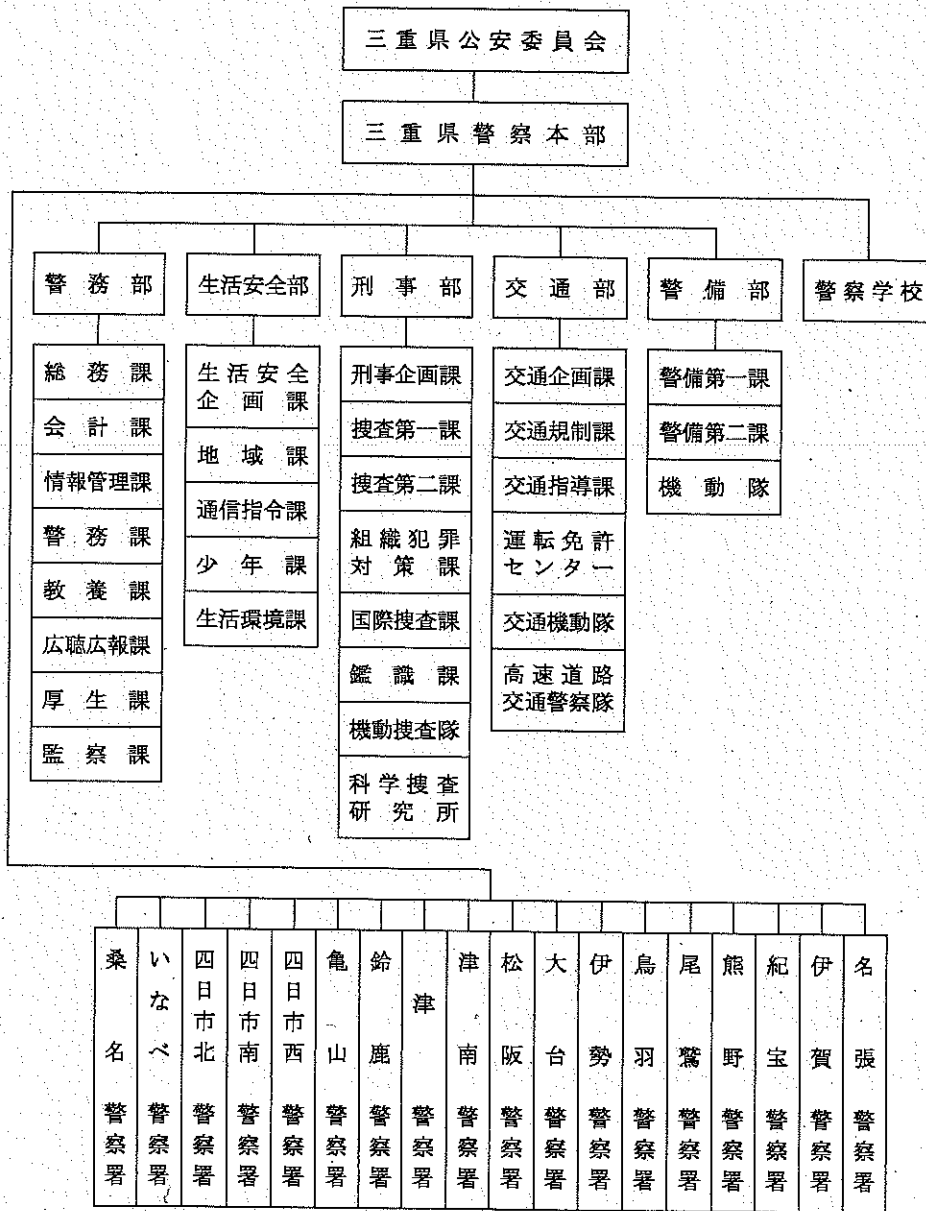
- 平成25年三重県警察運営の重点目標について
 - ・ **資料1** 三重県警察の組織 1頁
 - ・ **資料2** 平成25年三重県警察運営の重点目標 2頁
 - ・ **資料3** 「安全・安心」の実現に向けた取組 3頁
- 平成25年度警察費当初予算及び主要事業について
 - ・ **資料4** 平成25年度警察費当初予算及び主要事業 4頁
- 犯罪情勢及び検挙の推進について
 - ・ **資料5** 犯罪情勢 8頁
- 県民の身近で発生する犯罪の抑止対策の推進について
 - ・ **資料6** 県民の身近で発生する犯罪の抑止対策の推進 9頁
- 交通事故の発生状況と抑止対策の推進について
 - ・ **資料7** 交通事故の発生状況と抑止対策の推進 10頁
- 大規模災害対策の推進について
 - ・ **資料8** 大規模災害対策の推進 12頁

平成25年5月

三重県警察本部

三重県警察の組織

平成25年4月1日現在



5部	30所属	1校	18警察署
----	------	----	-------

条例定員	警察官	3033人
	一般職員	404人

平成25年三重県警察運営の重点目標

執務の基本方針

「県民と共に築く安全で安心な三重」の実現

～ 正しく・強く・温かく ～

執行の重点

- 県民の身近で発生する犯罪の抑止対策の推進
- 大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進とテロの未然防止
- 精強な初動警察態勢の確立と重要犯罪等の徹底検挙
- 暴力団等犯罪組織の壊滅に向けた総合対策と犯罪のグローバル化・犯罪インフラ対策の推進
- 交通死亡事故等抑止対策の推進
- 少年の健全育成に向けた総合対策の推進
- 犯罪被害者等支援の推進と要望・相談等への的確な対応

「安全・安心」の実現に向けた取組

～予想される事態に対処するための視点～

平成25年5月
三重県警察

資料3

三重県のブランドカアアップ

～安全で安心な「三重」を実現します！～



式年遷宮

皇室・要人はもとより、大勢の観光客の安全を守ります。

延伸に伴う犯罪や交通環境の変化に対応します。



高速道路延伸

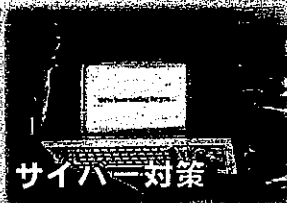


犯罪対策

交通事故等を解消し、安全かつ快適な交通環境の実現を目指します。



交通対策



サイバー対策

継続的に分析を行い、警戒活動を強化します。



テロ対策

地域を守る

～防災・減災対策を推進します！～

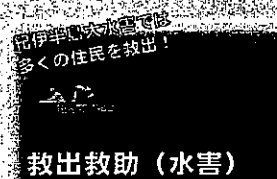


避難誘導

いち早く被災の状況を把握し、被害者の捜索活動を行います。



捜索活動



救出救助（水害）

整備された備蓄品を活用し、一人でも多くの被災者を救出救助します。

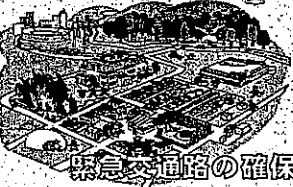


救出救助（震災）



活動拠点の確保

住民の避難、物資輸送、応援部隊の早期展開を目的に緊急交通路を確保します。



緊急交通路の確保

子どもを守る

～子どもを犯罪等から守ります！～



安全教育

防犯、安全教育を充実させ、子どもの防犯・安全意識を高めます。



犯罪の発生を抑制し、被害者が出ないよう被害を未然に防ぎます。



街頭緊急通報装置



通学路対策

交通事故等の発生を未然に防ぎ、安全な通学環境を確保します。



子どもや高齢者を優先し、歩行者の安全を確保します。

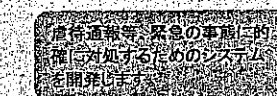


居場所づくり



児童虐待対策

児童相談所等の関係機関と連携し、児童虐待対策を推進します。



虐待通報等、緊急の事態に的確に対処するためのシステムを開発します。



事態対処システム

事態対処システムの構築

平成25年度警察費当初予算及び主要事業

1 警察費当初予算の概要

単位:千円

項目	平成25年度	平成24年度	増減
警察費総額	(36,861,813)	37,667,059	(△805,246)
	36,679,277		△ 987,782
人件費	30,766,345	30,811,038	△ 44,693
物件費	(6,095,468)	6,856,021	(△760,553)
	5,912,932		△ 943,089

*上段の()は2月補正含み額

※ 国の地方公務員給与削減要請に伴う対応として人件費の一部の予算計上を見送り

※ 大規模事業(交通管制システムの更新整備等)の終了が、物件費の主な減額要因

2 「みえ県民カビジョン」施策別予算額

単位:千円

施策	平成25年度	平成24年度	増減
111 防災・減災対策の推進	81,343	330,469	△ 249,126
11102 災害対応力の充実・強化	6,801	28,815	△ 22,014
11104 迅速な対応に向けた防災情報の共有化	74,542	301,654	△ 227,112
131 犯罪に強いまちづくり	3,429,954	3,511,650	△ 81,696
13101 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進	136,722	141,702	△ 4,980
13102 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化	485,290	477,652	7,638
13103 組織犯罪対策の推進	17,768	23,332	△ 5,564
13104 犯罪被害者等支援対策の充実	52,622	48,694	3,928
13105 県民の安全を守る活動基盤の整備	2,737,552	2,820,270	△ 82,718
132 交通安全のまちづくり	(2,908,094)	3,338,874	(△430,780)
	2,725,558		△613,316
13201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進	1,094,968	1,130,185	△ 35,217
13202 安全で快適な交通環境の整備	(1,625,214)	2,021,625	(△396,411)
	1,442,678		△ 578,947
13203 交通秩序の秩序	187,912	187,064	848
行政運営8 公共事業推進の支援	2,222	2,819	△ 597
40801 公共事業の適正な執行・管理	2,222	2,819	△ 597
その他(給与費等)	30,440,200	30,483,247	△ 43,047

*上段の()は2月補正含み額

3 主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：危機管理～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～》</p> <p>〔施策名：(111) 防災・減災対策の推進〕</p> <p>1 災害警備対策費（震災） 1, 388千円</p> <p style="text-align: center;">【(11102) 災害対応力の充実・強化】</p> <p>災害発生時に迅速かつ的確に対応するため、警察本部科学捜査研究所の鑑定機器等の耐震対策を講じて、災害対応力の強化を図ります。</p>	科学捜査研究所
<p>2 地域を支える警察活動強化事業【緊急課題解決1】 2, 526千円</p> <p style="text-align: center;">【(11102) 災害対応力の充実・強化】</p> <p>地域住民の安全・安心のよりどころとして重要な防災拠点である交番・駐在所にポータブル電源や避難誘導用具等の整備を進め、防災拠点機能の強化を図ります。（交番・駐在所50か所）</p>	警備第二課
<p>《政策名：暮らしを守る～誰もが安全で安心して暮らせる地域社会～》</p> <p>〔施策名：(131) 犯罪に強いまちづくり〕</p> <p>1 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進事業【新しい豊かさ協創5】 762千円</p> <p style="text-align: center;">【(13101) みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】</p> <p>地域における少年の非行防止活動の核となる人材を育成するとともに、さまざまな主体による少年の非行防止活動を拡大するため、大学生ボランティアによる非行少年の立ち直り支援活動等を推進します。</p> <p>（大学生ボランティア50人委嘱、居場所づくり10回開催）</p> <p>2 県民が安心して歩ける防犯まちづくり事業 17, 720千円</p> <p style="text-align: center;">【(13101) みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】</p> <p>犯罪に強いまちづくりを推進するため、老朽化したミニスーパー防犯灯を街頭緊急警報装置に更新整備して、子どもや女性が安心して歩くことができる生活環境を確保します。（10基更新）</p>	少年課 生活安全企画課

<p>3 子ども見守り事業 19,152千円</p> <p>【(13101) みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】</p> <p>学校や塾帰りの子どもを犯罪被害から守るため、老朽化したミニスーパー防犯灯を早急に新しい防犯機器に更新して、子どもが安心して歩ける公共空間を確保します。(鈴鹿地区、松阪地区に各8基)</p>	生活安全企画課
<p>4 取調べの録音・録画装置整備事業 10,605千円</p> <p>【(13102) 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化】</p> <p>刑事手続きの適正化を図るため、警察署の取調べの録音・録画装置の整備・充実を図ります。(平成25年度 8台整備)</p>	刑事企画課
<p>5 暴力団排除条例広報啓発事業 395千円</p> <p>【(13103) 組織犯罪対策の推進】</p> <p>暴力団排除条例を活用した、社会全体での暴力団を排除する機運を高めるため、暴力団排除条例の積極的な広報啓発活動を推進します。</p>	組織犯罪対策課
<p>6 犯罪被害者等支援対策の充実事業【新しい豊かさ協創5】 1,414千円</p> <p>【(13104) 犯罪被害者等支援対策の充実】</p> <p>社会全体で犯罪被害者等を支える機運を醸成するため、学生等のボランティアと一体となった広報啓発活動等を通じて、県民の被害者支援活動への参加を促進します。「命の大切さを学ぶ教室」15回開催、広報啓発イベント1回開催)</p>	広聴広報課
<p>7 警察官駐在所等整備事業 57,487千円</p> <p>【(13105) 県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>地域の警察活動を支える基盤を強化するため、「生活安全センター」である交番・駐在所の施設の更新整備・充実を図ります。(2駐在所建て替え)</p>	会計課
<p>8 捜査支援システムの整備事業 127,956千円</p> <p>【(13105) 県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>警察活動の基盤を強化するため、凶悪犯罪、侵入犯罪、広域犯罪等に対応する捜査支援システムの拡充整備を図ります。</p>	刑事企画課
<p>9 警察本部庁舎電源対策事業 2,342千円</p> <p>【(13105) 県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>警察本部機能を確保するため、災害等あらゆる事態を想定した庁舎予備電源施設の整備を図ります。(2か年事業、平成25年度 実施設計、平成26年度 施設工事)</p>	会計課

〈施策名：(132)交通安全のまちづくり〉		
1 交通安全県民力向上事業	13,500千円	交通企画課
<p>【(13201)交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】 「交通安全アドバイザー」による子どもを中心とした交通弱者に対する交通安全教育及び広報啓発活動を推進することにより、交通安全思想を普及し、交通事故防止のための県民力の一層の向上を図ります。 (委託事業、交通弱者対象の交通安全教室250回以上)</p>		
2 国補交通管制センターシステム更新整備事業	130,363千円	交通規制課
<p>【(13202)安全で快適な交通環境の整備】 交通流の効率的な管理とリアルタイムな交通情報を提供するため、老朽化した交通管制センターのシステムの更新を行い、複雑・過密化した交通を効率的かつ安全に管理して交通の安全と円滑の確保に努めます。</p>		
3 通学路緊急安全対策事業	0千円 (97,007千円 ※H24年度2月補正含みベース)	交通規制課
<p>【(13202)安全で快適な交通環境の整備】 緊急合同点検結果に基づき通学路の中で早急に整備が必要な箇所及び平成24年度までに把握している対策必要箇所について、緊急に安全対策を実施し、安心して通学できる道路交通環境を確保します。</p>		
4 暮らしと環境を守る交通安全施設整備事業	127,287千円	交通規制課
<p>【(13202)安全で快適な交通環境の整備】 信号機の設置要望箇所のうち、交通事故が多発しているなど必要性、緊急性の高い交差点に信号機を整備し、安全・安心で円滑な交通環境を確保します。</p>		
5 地域交通安全活動推進事業	2,120千円	交通企画課
<p>【(13203)交通秩序の維持】 交通安全諸活動のリーダーとして活躍する「地域交通安全活動推進委員」の活動を促進し、地域における交通モラルの向上を図ります。</p>		

犯 罪 情 勢

1 刑法犯

	H23	H24	増減(率)	H24.3	H25.3	増減(率)
認知件数	22,215	21,493	-722(-3.3%)	4,809	4,749	-60(-1.2%)
検挙件数	7,191	5,473	-1,718(-23.9%)	1,221	1,160	-61(-5.0%)
検挙人員	3,066	2,898	-168(-5.5%)	751	643	-108(-14.4%)
検挙率	32.4%	25.5%	-6.9P	25.4%	24.4%	-1.0P

- 平成25年3月末現在の認知件数は4,749件で、前年同期に比べ60件(1.2%)減少
- 検挙件数は1,160件で、前年同期に比べ61件(5.0%)減少
- 検挙率は24.4%で、前年同期に比べ1.0ポイント低下

2 凶悪犯

	H23	H24	増減(率)	H24.3	H25.3	増減(率)
認知件数	74	74	0(0.0%)	13	7	-6(-46.2%)
検挙件数	53	54	1(1.9%)	10	10	0(0.0%)
検挙人員	47	57	10(21.3%)	14	11	-3(-21.4%)
検挙率	71.6%	73.0%	1.4P	76.9%	142.9%	66.0P

※ 凶悪犯：殺人・強盗・放火・強姦

- 平成25年3月末の認知件数は7件で、前年同期に比べ6件(46.2%)減少
- 検挙件数は10件で、前年同期と増減なし
- 検挙率は142.9%で、前年同期に比べ66.0ポイント上昇

3 組織犯罪

(1) 暴力団犯罪

	H23	H24	増減(率)	H24.3	H25.3	増減(率)
検挙人員	250	216	-34(-13.6%)	43	30	-13(-30.2%)
うち刑法犯	151	163	12(7.9%)	33	26	-7(-21.2%)
うち特別法犯	99	53	-46(-46.5%)	10	4	-6(-60.0%)

- 平成25年3月末の検挙人員は30人で、前年同期に比べ13人(30.2%)減少
- 検挙人員30人のうち、26人(構成比86.7%)が刑法犯

(2) 薬物犯罪

	H23	H24	増減(率)	H24.3	H25.3	増減(率)
検挙人員	160	123	-37(-23.1%)	20	31	11(55.0%)
暴力団構成員等	60	46	-14(-23.3%)	11	4	-7(-63.6%)

- 平成25年3月末の薬物犯検挙人員は31人で、前年同期に比べ11人(55.0%)増加
- 検挙人員のうち、暴力団構成員等が7人(63.6%)減少

4 来日外国人犯罪

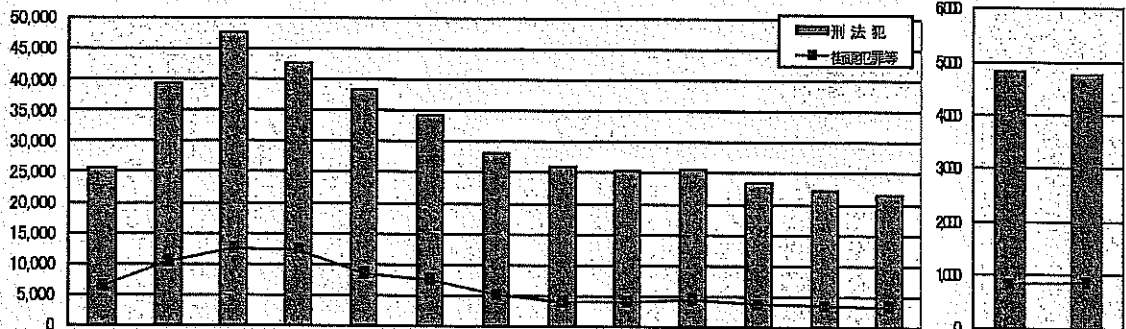
	H23	H24	増減(率)	H24.3	H25.3	増減(率)
検挙人員	163	140	-23(-14.1%)	31	20	-11(-35.5%)
うち刑法犯	128	115	-13(-10.2%)	28	17	-11(-39.3%)
うち特別法犯	35	25	-10(-28.6%)	3	3	0(±0)

- 平成25年3月末の検挙人員は20人で、前年同期に比べ11人(35.5%)減少
- 検挙人員20人のうち、17人(構成比85.0%)が刑法犯

県民の身近で発生する犯罪の抑止対策の推進

1 街頭犯罪等抑止対策
(1) 認知件数

刑法犯及び街頭犯罪等認知件数の推移



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
刑法犯	25,662	39,246	47,600	42,587	38,455	34,457	28,103	25,964	25,348	25,540	23,425	22,215	21,493
街頭犯罪等	6,651	10,623	12,760	12,583	8,768	7,745	5,301	4,171	4,178	4,620	3,824	3,641	3,458

	H24.3	H25.3
刑法犯	4,809	4,749
街頭犯罪等	833	850

街頭犯罪等(重点対象9類型)…空き巣、忍込み、自動車盗、ひったくり、車上ねらい、路上強盗、強制わいせつ、強姦、麻取誘拐

- 平成24年中の刑法犯認知件数は、21,493件(前年比-722件)、街頭犯罪等認知件数は、3,458件(前年比-183件)
- 平成25年3月末現在の刑法犯認知件数は、4,749件(前年同期比-60件)、街頭犯罪等認知件数は、850件(前年同期比+17件)

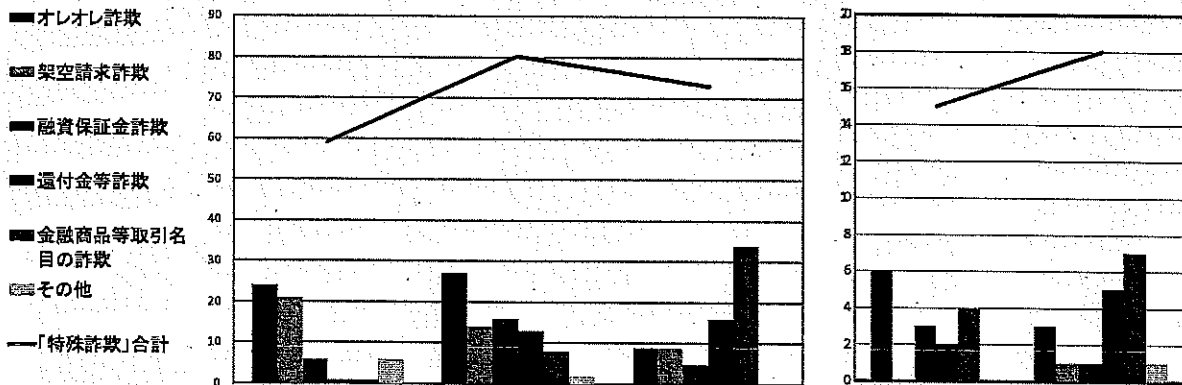
(2) 抑止対策

- 自主防犯活動団体への支援
- 自転車盗など「ゲートウェイ犯罪」の抑止対策の推進
- 子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進

2 特殊詐欺抑止対策

(1) 認知件数

特殊詐欺認知件数の推移



	H22	H23	H24
オレオレ詐欺	24	27	9
架空請求詐欺	21	14	9
融資保証金詐欺	6	16	5
還付金等詐欺	1	13	16
金融商品等取引名目詐欺	1	8	34
その他	6	2	0
「特殊詐欺」合計	59	80	73

	H24.3	H25.3
オレオレ詐欺	6	3
架空請求詐欺	0	1
融資保証金詐欺	3	1
還付金等詐欺	2	5
金融商品等取引名目詐欺	4	7
その他	0	1
「特殊詐欺」合計	15	18

- 平成24年中の特殊詐欺の認知件数は、73件(前年比-7件)
- 平成25年3月末現在の特殊詐欺の認知件数は、18件(前年同期比+3件)

(2) 抑止対策

- 被害者層に応じた広報啓発活動の推進
- 関係事業所等との被害防止ネットワークの構築

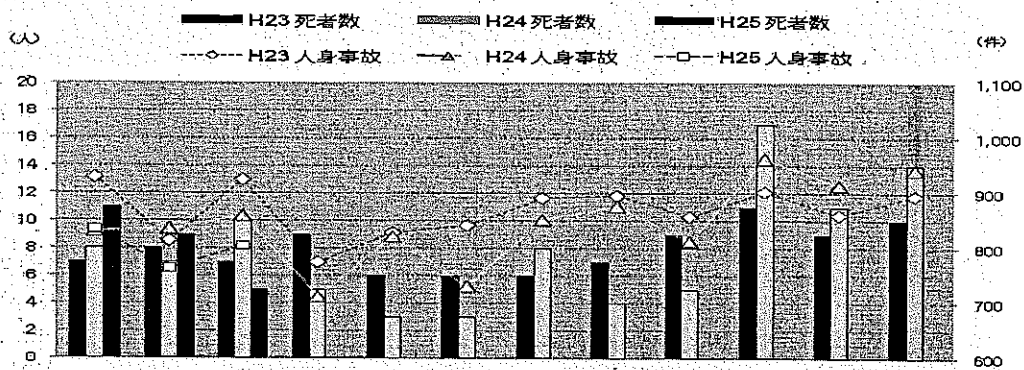
交通事故の発生状況と抑止対策の推進

1 交通事故情勢（平成24年中及び平成25年3月末）

(1) 交通事故発生状況

区分	総事故	人身事故		死亡事故		物損事故
			負傷者数		死者数	
平成24年中	63,642	10,155	13,287	93	95	53,487
平成25年3月末	15,553	2,404	3,091	24	25	13,149
前年同期比	-266	-123	-240	-1	0	-143
増減率	-1.7%	-4.9%	-7.2%	-4.0%	0.0%	-1.1%

(2) 月別発生件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H23 人身事故	929	814	925	775	829	842	892	896	858	903	861	896	10,420
H23 死者数	7	8	7	9	6	6	6	7	9	11	9	10	95
H24 人身事故	831	836	860	712	822	731	852	877	813	963	915	943	10,155
H24 死者数	8	7	10	5	3	3	8	4	5	17	11	14	95
H25 人身事故	835	764	805										2,404
H25 死者数	11	9	5										25

2 交通死亡事故の特徴

(1) 高齢死者が約半数を占める

平成24年中～高齢死者48人 構成率50.5%（全国51.3%）

本年3月末～高齢死者11人 構成率44.0%（全国54.2%）

うち歩行者5人（夜間3人）、自転車利用者0人

区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年3月末
高齢死者数	56	65	71	53	48	11
構成率	50.9%	58.0%	52.6%	55.8%	50.5%	44.0%

(2) シートベルト非着用死者の割合が減少

平成24年中～四輪乗車中死者34人中17人 非着用率50.0%（全国44.0%）

本年3月末～四輪乗車中死者12人中3人 非着用率25.0%（全国47.0%）

区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年3月末
四輪乗車中死者数	37	44	65	36	34	12
非着用者数	20	31	34	18	17	3
構成率	54.1%	70.5%	52.3%	50.0%	50.0%	25.0%

- (3) 飲酒運転が絡む事故が後を絶たない ※ 構成率は原付以上の第一当事者に占める割合
 平成24年中～飲酒運転が絡む死亡事故4件 構成率4.5% (全国6.5%)
 本年3月末～飲酒運転が絡む死亡事故2件 構成率10.0% (全国7.7%)

区 分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年3月末
飲酒死亡事故件数	10	7	6	6	4	2
構 成 率	9.7%	6.9%	5.0%	7.6%	4.5%	10.0%

3 交通事故抑止対策の推進

(1) 交通死亡事故の特徴を踏まえた「重点4 S対策」

ア 高齢者の交通事故防止対策 (Silver:シルバーク対策)

- 交通安全アドバイザーによる参加・体験・実践型の教育・啓発活動を実施
- 「交通安全“見える・見せる”キャンペーン」を活用し、反射材の着用を促進
- 高齢者交通安全教育ステップアップ事業による地域の実態に応じた交通安全教育を推進

イ シートベルト着用促進対策 (Seatbelt:シートベルト対策)

- 事故多発路線・時間帯を考慮したシートベルト取締りの強化
- チャイルドシート着用モデル幼稚園等の指定
- シートベルトコンビンサー等を活用した参加・体験型による指導教育の推進

ウ 飲酒運転根絶対策 (Sake:サケ対策)

- 飲酒運転取締りの強化
- 飲酒運転を根絶するための社会環境づくり
「ハンドルキーパー運動」の普及啓発と自動車運転代行業の利用促進

エ 速度抑制対策 (Speed:スピード対策)

- 実勢速度の高い路線・時間帯における速度違反取締りの強化
- 道路管理者と連携した道路交通環境の整備
- 高速道路等において関係機関・団体と連携したペースメーカー車運動の展開

(2) 効果的な交通指導取締り

- 事故発生現場を中心とした事故情報の広報を兼ねた交通指導取締り
- 死亡事故の特徴を踏まえ、最重点罪種に指定した「飲酒運転」、「最高速度違反」、「シートベルト非着用」の交通指導取締り
- 主要幹線道路(国道23号等)における顕示効果の高い交通指導取締り

4 「安全・安心」の実現に向けた取組

- 子どもを守る通学路対策及び交通安全教育の推進
- 交通環境の変化等に即した交通安全対策の推進

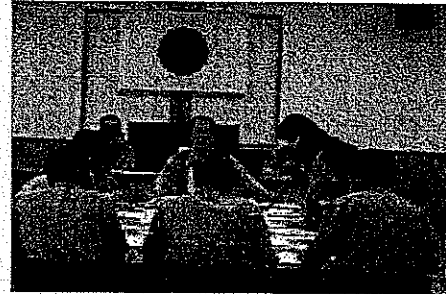
大規模災害対策の推進

南海トラフ巨大地震を始めとした大規模災害時にも警察機能を維持し、県民の安全確保に全力を尽くすことができるよう災害対応力を強化

事態対処能力の向上



警察本部(災害警備本部)図上訓練



警察署図上訓練



消防との合同救助訓練



地域連携による避難訓練



無線機、ヘルメット、救助器具、拡声器、照明具等



津波からの危機回避のための指導教養【沿岸駐在所】
職員家族の安全確保
日頃からの意識喚起

災害対応基盤の整備

- ヘリコプターテレビシステム整備【H22～24年度】
- 交通信号機震災対策(自動起動式信号機電源付加装置)【H24年度～】
- 各種システムサーバ免震対策【H24年度】、鑑定機器等免震対策【25年度】
- 警察本部庁舎電源対策(予備電源設備)【H25・26年度】
- 災害用装備資機材整備・非常食備蓄【経年】



「事態対処能力の向上」と「災害対応基盤の整備」の両面から災害対応力を一層強化